

具体的な学習活動の想定

児童の反応や思考を予測し、具体的な活動を想定する

1年生 国語科「くじらぐも」(文学的文章)

1単位時間に一回以上、音読をする学習活動を取り入れた。

家庭学習としても音読の宿題を課し、本文により親しみながら学ぶことで、声に出して読むたびに自然に読みを深めることができるようにした。



3年生 国語科「はんで意見をまとめよう」(話すこと・聞くこと)



3年生で行う話し合いについての学習では、話し合いの進め方や、意見の出し合い方を学習した。議題に対して考えたことを付箋に書いて、条件をもとに話し合う活動を設定した。

付箋や、付箋を貼る紙を用意した。ホワイトボードや共有ソフト等の活用も考えられる。

4年生 国語科「世界にほこる和紙」(説明的文章)

区立図書館から関連した図書資料を集め、児童がすぐに読めるよう廊下に配架した。

並行読書として、伝統工芸品に関わりのある図書資料を用意することで、児童の興味・関心を更に高め、教材文の読み取りの際にも書きぶりに注目できるようにした。



4年生 音楽科「いろいろなリズムを感じ取ろう」



「いろいろな木の実」の打楽器のリズムを覚える際、リズムを言葉に置き換えることで、正しいリズムで打楽器を打てるようにした。

「言葉でリズムアンサンブル」の4文字の言葉リレーにもつなげていった。(マラカスのリズム)

ギロ・シューマイ・ラーメン・・・・

マラカス・マラカス・カステラ・・・・

クラベス・火への用心、スットントン・・・・

※ 出典 教科書 教育芸術者 音楽 4年

ねらいに応じた発問を精選し、児童の活動や気づきなどを価値付けたり、必要な指導をあらかじめ検討したりする

1年生 国語科（文学的文章・説明的文章の読み）



1年生の国語科における読みの学習では、1単位時間のねらいについて学年で共通認識を図りながら各単元の学習を進めた。

ねらいに応じた発問の精選やねらいに沿った児童の気づきやつぶやきを価値付ける等、単元の目標に全員を到達させるために必要な指導をあらかじめ検討した。

3年生・4年生・5年生・6年生 算数少人数



児童にねらいに応じた発問を行い、目的意識や必要感をもたせた上で算数的活動を行った。

結果として、算数的活動を行う中で表現力の伸長や目的意識をもってねらいに対して主体的に取り組む姿が増えた。

5年生 国語科「たずねびと」(文学的文章)



児童の意見を教師が価値付けしたり、問い返しをしたりしながら分類・整理していき、児童が物語を読み深めて、自分の考えを広げられるようにした。

どのような言葉・姿で交流しているかを具体的に想定し、どのような意見を取り上げていくかをあらかじめ決めておく

1年生 国語科「くじらぐも」(文学的文章)



教科書にサイドラインを引く方法で、お気に入りの場所を交流させた。最初はペア交流で互いにお気に入りの場所を紹介し合い、次に全体交流の場で発表させた。

台詞の部分を中心に扱うことで、音読劇のための音読スキルの指導へもつなげることができるようにした。